



# 国際ロータリー 第 2780 地区 第9グループ 湯河原ロータリークラブ 週報



2023年3月3日(金) 第2911回例会 形式:対面 天候:晴れ  
合唱:君が代、それでこそロータリー、四つのテスト

会長 青木 義美 幹事 室伏 学

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

## 会長挨拶

青木 義美

過日安江会員の結婚祝い食事会に大勢ご参加頂きありがとうございます。又石川親睦委員長さんは段取り他ご苦労様でした。評判通り最後のデザートは3回食べてお皿が足りない

と言われた豪傑の方もいらっしゃいましたが、皆楽しそうで何よりでした。奥様に追い出されていなければ安江会員をダシに、又お祝い会をやってもいいかなとも思っています。

さて来週11日土曜日は佐藤次期会長の「PETS」があります。「PETS」の意味はPRESIDENTS ELECT TRAINING SEMINARの省略で、次期会長研修会です。昨年私がこの日にどうしても出席出来ず、このPETS研修を受けないと会長になれないと脅かされ後からビデオを見させてもらいましたが、素人撮影のビデオだったのでカメラをグルグル回すような撮影の仕方だったのですっかり船酔いをしてしまった記憶があります。クルーズ好きの私ですので船には強いはずでしたが。あれからもう1年、早いもんですね。

最後になりますが皆さんの健康について、ロータリーの友12月号にちょっと手記があったので気になった2点ほどを紹介させていただきます。都城中央クラブの田村栄養士が書かれたものです。

まず食後のコーヒーですが、コーヒーには消化酵素が含まれているのでとてもいいそうです。インスタントよりレギュラーコーヒーがいいそうです。

2つめは果物についてです。朝のフルーツは金、昼は銀、夜は銅だそうです。夜は中性脂肪が増えやすく寝ている間に蓄積されてしまうそうです。

まだいくつか書いてありましたが、是非12月号ですので読んで下さい。

連絡事項 なし

## 出席報告

会員	23 名	出席率	85.00 %
欠席	6 名	前回の修正出席率	90.48 %
(免除者)	3 名	前々回の修正出席率	75.00 %
ゲスト	1 名	事前メイクアップ	1 名
ビジター	0 名		

ゲスト 宮川 勝行 様(小田原青年会議所 2022年度理事長、宮川・神蔵社会保険労務士法人)

## 幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1.3月のロータリーレート 1ドル136円  
ガバナーより

1.トルコ・シリア大地震被災地へ寄付のご協力のお願い  
ロータリー財団管理委員会では、3月31日までに災害救援基金(一般)によせられたすべての寄付を、今回の地震の被災者救援プロジェクトの支援に使用することが決定されました。そこで当地区では、被災地域での活動に直接利用される災害救援基金への現金寄付を決定いたしました。  
今回、皆様からお預かりした個人寄付は、ポリオ基金への寄付と同じく、メジャードナーやマルチプルフェロー、ポールハリスフェローなどの認証のための実績となります。そのため、クラブの皆様には、ご多用の折大変恐れ入りますが、「別紙 2-(〇〇RC)寄付送金明細書」にクラブ名、クラブ ID、寄付者名、ローマ字、会員の ID 番号、寄付金額をお間違えないようすべてご記入していただき「寄付送金明細書」をガバナー事務所にメール配信をお願いいたします。

◎3月24日(金)までにお送りいただきますようお願いいたします(厳守)。

入会記念日 常盤孝司君(2年・R3.3.5)

渡辺久恭君

渡邊彩香プロと2週連続で函南ゴルフ場でラウンドしてもらいました。今、ダイキンオーキッドレディーストーナメントで首位です。

葉維英君

先週末に上海の作家陳先生、日中協会瀬野理事長が湯河原に来られまして、伊藤屋さんを見学させて頂きました。梅を拝見しました。楽しくて有意義な旅で、友人達は感動していました。伊藤さんにご協力頂きましてありがとうございました。

卓話 佐藤 友彦 君

代講 小田原青年会議所 理事長 宮川 勝行 様

皆様こんにちは。公益社団法人小田原青年会議所、2022年度理事長を務めました宮川勝行と申します。湯河原町吉浜出身、7年前に宮川・神蔵社会保険労務士法人を立ち上げ、現在に至ります。今回は主に、2022年度小田原青年会議所で取り組んだプログラムについてお話しさせていただきます。

### 1. 小田原青年会議所(JCI)の概要

国際青年会議所(JCI)とは、世界105の国と地域において約15万人の会員を擁する、青年(20~40歳)の市民活動を推進する国際組織です。日本(総会員数約3万人)では日本青年会議所を頂点に、10の地区協議会、47(都道府県と同枠)のブロック協議会が構成され、その傘下に684の青年会議所が所属しています。小田原青年会議所は関東地区協議会、神奈川ブロック協議会に所属する、1958年創設の歴史ある組織で、58名の正会員(2023年1月現在)が在籍しています。行動綱領としての三つの信条は「社会への奉仕(Service)」「指導者訓練を基調とした修練(Training)」「世界との友情(Friendship)」です。

2022年度、小田原青年会議所は「進展~Be Better~」というスローガンを旗印に、社会という泉に一石を投じること、その役割を果たし続けるために一人ひとりが成長を続け、社会のお役に立てる人財となることを目指した6つの基本方針を策定しました。そして今年度の主な取り組みとして「第35回国際アカデミーin 小田原・箱根」、地域の次代を担う若者の育成「ジュニアハイスクール議会」、地域の新しい魅力の創出「おだべん。共創プロジェクト」がありました。

### 2. 国際アカデミーin 小田原・箱根

国際アカデミー(JCI Academy)とは、世界の会員がそれぞれの国家青年会議所の代表となるべく行われる、いわゆるリーダー研修です。アカデミーでは滞在期間中、リーダー研修の他、地域の魅力体験や地域内の交流も企画され、開催地が参加者に開催地の魅力を発信する機会となっています。

「第35回国際アカデミーin 小田原・箱根」は、「Pay it Forward~恩贈り~」を開催テーマに、世界69カ国の海外参加者をお迎えし、2022年9月16~23日(開講式 9/19、卒業式 9/23)の日程で開催されました。

開講式に先立っての9月16~18日には、学校訪問プログラム(三の丸小学校、片浦小学校、函嶺白百合学園、湯河原中学校)、理事長招待レセプション、ホームステイマッチング、湯河原観光を行い、参加者に地域の魅力をアピールしました。

このような事業の開催実績は、私たちの地域に「研修旅行」「国際会議」を実施するポテンシャルがあることの証明になり、将来的な国際会議の招致、開催にも繋がると考えられます。

### 3. ジュニアハイスクール議会

地域の次代を担う若者の育成を目指して開かれる「ジュニアハイスクール議会」、今年度は4~8月の全4回が開催されました。ふだんは地域の課題について考える機会が乏しいであろう中学生に考える機会を提供し、地域の課題の発見や市議のレクチャーを受けながら、小田原市長に質問と提言を行うまでがひとつの事業となります。

### 4. おだべん。共創プロジェクト

自分たちのまちの魅力を自分たちでつくる取り組みとして、小田原青年会議所は2022年に「おだべん。」共創プロジェクトを立ち上げました。今回は新しい生活様式を踏まえ、コロナ禍が落ち着いた後も一定の需要が続くと考えられる「お弁当」に着目し、地域住民や地域団体と連携して、今、私たちが求めるお弁当とはどのようなものか、小田原市内飲食店32店舗と地域住民6,000人を対象に、自ら住み暮らす地域のアイデアを集めました。そして地域の魅力の詰まった「お弁当」が誕生し、10月16日(日)、ダイナシティWESTにてお披露目されました。

今後も小田原青年会議所は「世界を感動させる観光文化都市を目指して」の地域ビジョンのもと、活動を続けて参ります。

ご清聴ありがとうございました。

(文・編集:丸塚順子(3月会報担当)/クラブ会報委員会)